

千葉東葛間の新たな広域幹線 道路の整備に関する要望書

令和6年1月

千葉東葛間広域幹線道路
建設促進期成同盟会

千葉・東葛間の新たな広域幹線道路の整備に関する要望書

広域幹線道路は、都市間相互を連絡し、生活や経済活動等あらゆる社会活動を支える重要な施設であり、地震などの災害発生時においても救援救護活動、緊急物資の輸送など重要な役割を担うものであります。

国道16号は、千葉市から東葛飾北部地域にかけての唯一の広域幹線道路であり、首都圏の環状道路として位置付けられています。

令和2年6月に国土交通省から公表された「直轄国道の交通状況ランキング（平成31・令和元年）」における路線別の渋滞ランキング〈年間合計〉では、直轄国道1号～20号の区間毎の渋滞損失時間等が集計されており、国道16号における千葉県千葉市（八千代市境～こてはし台入口交差点付近）及び千葉県柏市（呼塚交差点～大井交差点）が全国ワースト1位、2位を独占しております。

令和5年6月に同じく国土交通省から公表された「道路交通センサス」では、呼塚交差点～大井交差点の区間において、昼間12時間大型車混入率が3割を超えております。

また、国土交通省がETC2.0プローブデータを用いた国道16号での調査（令和3年10月）によると、千葉北西地域（野田市、柏市、我孫子市、白井市、印西市）に目的地を持たない外々交通（通過交通）の割合が約2～3割を占めています。

このことから、国道16号の慢性的な渋滞により、柏市から我孫子市にまたがる田中調節池内の市道等に車両が流入するなど、周辺道路の交通量が増大しているほか、特に道路利用のニーズが高まる朝夕においては、国道16号へ接続している市道等も渋滞をするなど、円滑な交通に支障をきたしている状態です。

併せて近年、東葛飾北部地域の救急件数は増加の一途をたどっており、現場到着時間においても延伸している状況です。災害発生時における国道16号及び周辺道路の交通渋滞により、救急医療活動等が機能不全になる恐れがあり、今後、代替路線の必要が増大していくことが見込まれます。

快適な生活空間の創造や活力ある地域づくりのためには、千葉市から東葛飾北

部地域にかけての国道16号の交通対策は緊急の課題であり、国土強靱化、地方創生を実現するためにも、地元市はもとより沿線住民も千葉・東葛間の新たな広域幹線道路である千葉北西連絡道路の早期実現に強い期待を寄せております。

このような状況を踏まえ、国、千葉県、茨城県、野田市、柏市、我孫子市、印西市、白井市及び取手市は令和2年度に設立した「千葉北西連絡道路検討会」において、計画の具体化に向け検討が進められました。

令和4年11月の第4回検討会において、道路の概略計画検討に向けた基本方針として、「起終点」「求められるサービスレベル」「地域への配慮事項」が策定されました。現在は、国及び千葉県において、概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）が進められています。

国道16号千葉東葛間の沿線市では、県とともに、千葉北西連絡道路の早期具体化に向けたパネル展等の各種活動を実施してきたところであり、引き続き、地域の機運醸成を図ってまいります。

千葉・東葛間の新たな広域幹線道路が実現した際には、沿線住民の利便性・快適性が向上することはもとより、国道16号の輸送時間の短縮により企業活動が効率化します。また、成田空港とのアクセスが強化されることで千葉県北西部の観光の活性化が図られ、当該地区の社会資本が機能することでストック効果が見込まれます。このほか、交通渋滞が緩和されることで、迅速な救急医療活動へ寄与するとともに、交通事故の減少及び路線バスの定時性向上なども大いに期待されます。これらのストック効果がより一層発現できるよう、自動車専用道路を含め、千葉・東葛間の新たな広域幹線道路をアクセスコントロールされた道路として整備していただくことも有効であると考えています。

つきましては、千葉・東葛間の新たな広域幹線道路である千葉北西連絡道路の重要性を理解いただき、次の事項について特段の配慮をお願いいたします。

- 1 千葉北西連絡道路について、千葉県北西地域の交通の円滑化を図るとともに、当該地域のポテンシャルを十分に引き出すため、つくば野田線以北から、国道464号付近までにおいて、核都市広域幹線道路の機能を兼ね備えた、多車線の自動車専用道路として、計画の早期具体化を図ること。
- 1 千葉北西連絡道路の計画の具体化にあたって、地域の理解が深まるよう、沿線住民との積極的なコミュニケーションを図る役割を果たしていくため、早期に概略ルート・構造の検討を進めること。
- 1 千葉北西連絡道路延伸部（印西市以南）について、引き続き検討を推進すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むとともに、地方整備局等の体制の充実・強化に取り組むこと。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

令和6年1月16日

千葉東葛間広域幹線道路建設促進期成同盟会

会 長	柏市長	太田	和美
副会長	印西市長	板倉	正直
理 事	千葉市長	神谷	俊一
理 事	船橋市長	松戸	徹
理 事	野田市長	鈴木	有
理 事	白井市長	笠井	喜久雄
監 事	八千代市長	服部	友則
監 事	我孫子市長	星野	順一郎
会 員	佐倉市長	西田	三十五
会 員	流山市長	井崎	義治
会 員	鎌ヶ谷市長	芝田	裕美
会 員	四街道市長	鈴木	陽介

